

製品名: IL-1F10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12518**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	IL1F10
別名	IL1F10; FIL1T; IL1HY2; FKSG75; Interleukin-1 family member 10; IL-1F10; FIL1 theta; Interleukin-1 HY2; IL-1HY2; Interleukin-1 theta; IL-1 theta
遺伝子 ID	84639.0
SwissProt ID	Q8WWZ1
免疫原	インターロイキン-1 ファミリーメンバー 10 由来の合成ペプチド (アミノ酸範囲: 101-150)

背景

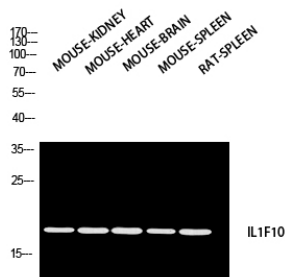
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 1 サイトカインファミリーのメンバーです。この遺伝子と他の 8

このインターロイキン1ファミリー遺伝子は、2番染色体上にサイトカイン遺伝子クラスターを形成します。このサイトカインは、インターロイキン1ファミリーメンバーのネットワークに関与し、適応免疫応答および自然免疫応答を制御と考えられています。同じタンパク質をコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq提供、2008年7月]、機能：可溶性IL-1受容体1型に結合する。、オンライン情報：インターロイキン-1エントリー、類似性：IL-1ファミリーに属する。、組織特異性：胎児の皮膚、脾臓、扁桃腺に発現する。主に皮膚の基底上皮と扁桃腺の増殖性B細胞に発現する。、

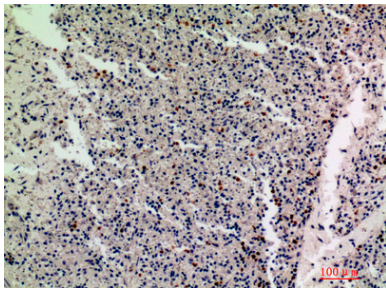
研究分野

-

画像データ



IL1F10抗体を用いたマウス腎臓、マウス心臓、マウス脳、マウス脾臓、ラット脾臓のウェスタンブロット解析。抗体は1:2000に希釈。二次抗体は1:20000に希釈。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された